



中部中だより

考え 力を合わせて やり抜く

校長 田口 雅夫

■あたたかい かかわり…をつなぐ

この3月に中部中を卒業した子供たちが、2か月ほど前に、校内の環境整備をしました。正門を入れてすぐ、左手の花壇は、その作業の中で、子供たちがつくったものです。新年度のスタートを気持ちよくきってほしいという思いが開花しています。

自ら創りあげ、大切にしてきた「あたたかい かかわり」をつなぐ子供たちです。

■なりたい自分…をつなぐ

2、3年生の子供たちには、始業式の日までに「どんな自分になりたいのか考えてくる」ように伝えました。

「なりたい自分」を考えることは、自分の気持ちと向かい合うことにつながります。

仲間の考える「なりたい自分」に思いを馳せることは、仲間の気持ちと向かい合うことにつながります。

「なりたい自分」になるために、どんなことをするのか思い巡らせることは、なすべきことと向かい合うことにつながります。

こうして、「なりたい自分」を「向かい合う」ことにつなぐ子供たちです。

さらに子供たちは、お互いの「なりたい自分」を目指し「向かい合う」気持ちや姿を通して、学校の教育目標「考え 力を合わせて やり抜く生徒」に向かっていきます。

■学校の教育目標…をつなぐ

私たちは、「考え 力を合わせて やり抜く力」が、子供たちが「よりよく生きる」「明るい未来を創り出す」ことにつながるものと考えています。

■明るい未来…につなぐ

入学式前日、会場準備などのボランティアに65名もの新3年生が集結し、自分たちで、はつらつと作業をすすめました。考え力を合わせて やり抜く子供たちの姿に、たのもしさを感じました。

